

香川県の地震

令和4年(2022年)10月

香川県の地震活動

震央分布図、断面図	・・・	1
地震概況	・・・	1
香川県の地震表(震度1以上)	・・・	2
震度分布図	・・・	2

南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会^(注)

評価検討会調査結果 令和4年(2022年)11月8日	・・・	3
----------------------------	-----	---

(注)直近に開催された評価検討会の調査結果を掲載します。

地震一口メモ

「長周期地震動についての情報」	・・・	4～5
-----------------	-----	-----

この資料の震源リスト・震源要素(緯度、経度、深さ、マグニチュード)は暫定値であり、後日再調査の上修正されることがあります。

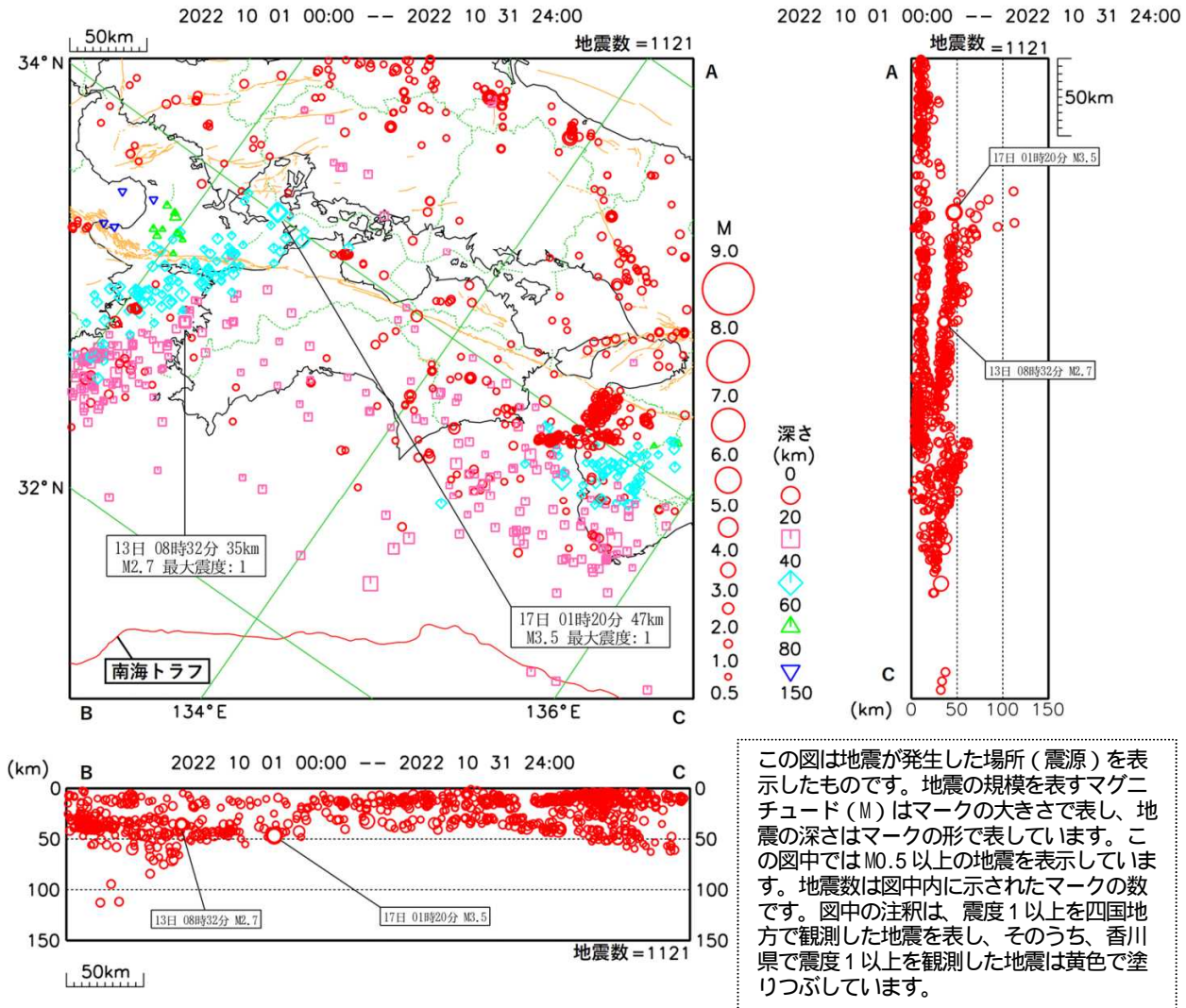
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

高松地方気象台

【香川県の地震活動】

2022年10月

震央分布図、断面図



〔左上：震央分布図、右上：A-Cを投影面とした断面図、左下：B-Cを投影面とした断面図〕

地震概況

香川県で震度1以上を観測した地震は、次の1回でした（前月は1回）。

2日 00時02分 大隅半島東方沖の地震（深さ29km、M5.9；震央分布図地図範囲外）により、土庄町・観音寺市・多度津町で震度1を観測しました。この地震では、宮崎県日南市で震度5弱を観測したほか、近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度4～1を観測しました。

四国で震度1以上を観測した地震は、前述の他に次の2回でした。

13日 08時32分 豊後水道の地震（深さ35km、M2.7）により、高知県宿毛市で震度1を観測しました。

17日 01時20分 安芸灘の地震（深さ47km、M3.5）により、広島県安芸高田市・三原市・広島市中区・広島市西区・広島市安佐北区・呉市・東広島市・廿日市市、愛媛県西条市で震度1を観測しました。

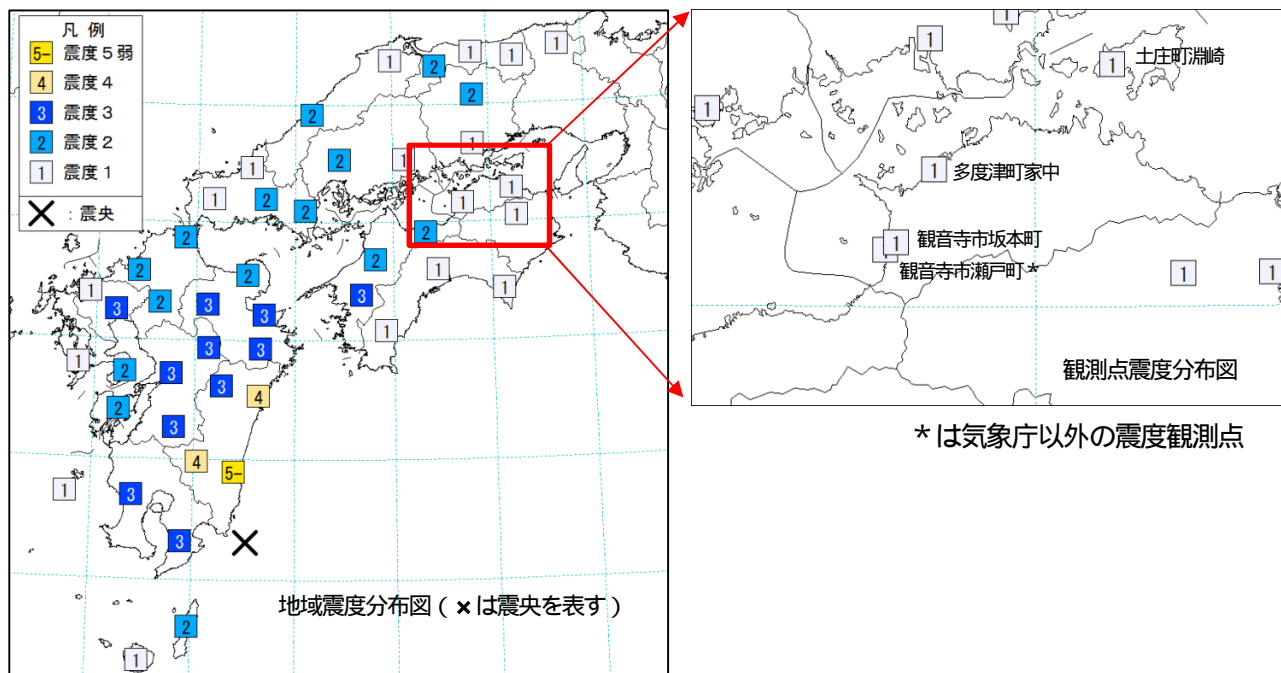
香川県の地震表（震度1以上）

震源時（年月日時分） 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2022年10月02日00時02分 香川県	大隅半島東方沖	31° 18.7' N	131° 31.3' E	29km	M5.9
震度 1 : 土庄町湍崎, 観音寺市坂本町, 観音寺市瀬戸町*, 多度津町家中					

*は気象庁以外の震度観測点

震度分布図

2022年10月02日00時02分 大隅半島東方沖の地震



【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会】

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催しています。

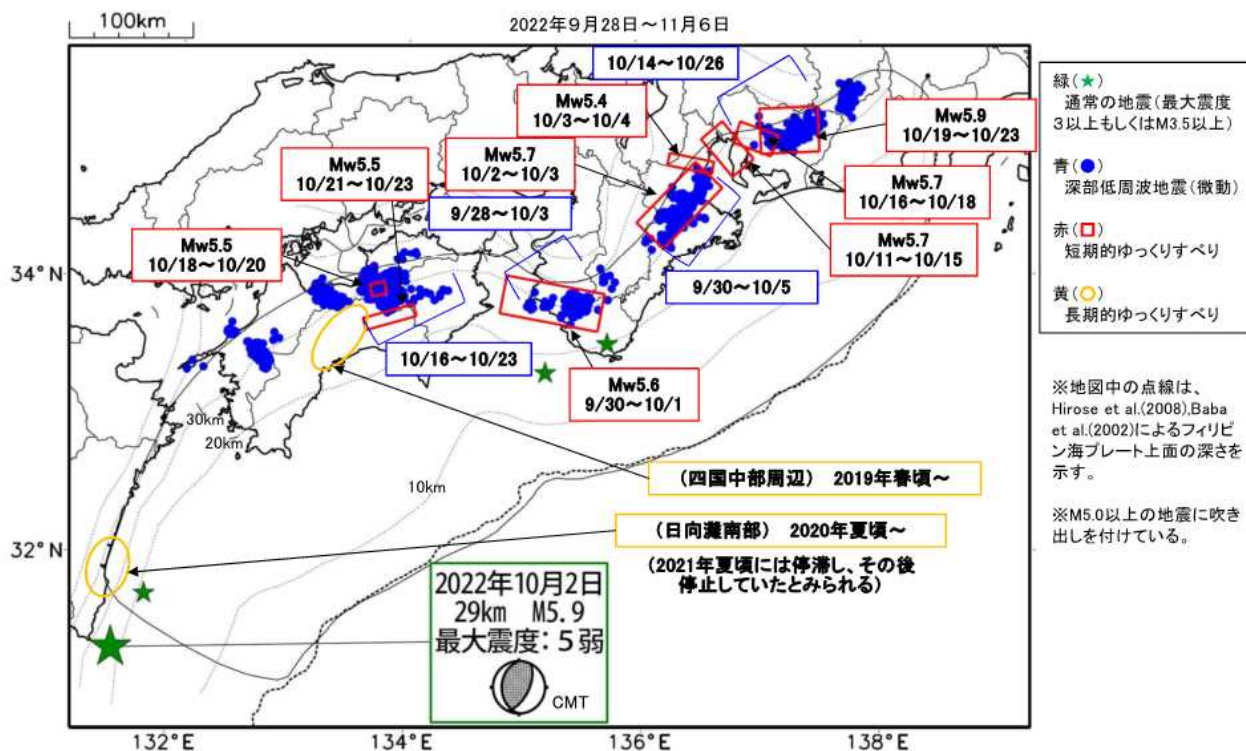
令和4年(2022年)11月8日に公表された評価検討会で評価された調査結果は次のとおりです。

【調査結果(概要)】

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注)南海トラフ沿いの大規模地震(M8からM9クラス)は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から既に70年以上が経過していることから切迫性の高い状態です。

【最近の南海トラフ周辺の地殻活動】



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり.....【東海】気象庁の解析結果を示す。【紀伊半島北部、紀伊半島西部、四国東部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。
 長期的ゆっくりすべり.....【四国中部周辺、日向灘南部】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

気象庁作成

上図の深部低周波地震(青)、短期的ゆっくりすべり(赤)、長期的ゆっくりすべり(黄)について、これらの現象は、プレート境界の固着状況の変化を示す現象と考えられることから、気象庁は、関係機関の協力も得ながら注意深く監視しています。

なお、詳細は、次の気象庁報道発表資料をご参照ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2211/08c/nt20221108.html>

また、最新の南海トラフ地震に関連する情報は次のページ(URL)をご参照ください。

ホーム> 防災情報> 南海トラフ地震関連情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>

【地震一口メモ】

「長周期地震動についての情報」

長周期地震動階級

気象庁では、高層ビルの高層階における地震時の人の行動の困難さの程度や、家具や什器の移動・転倒などの被害の程度を基に長周期地震動による揺れの大きさを4つの階級に区分した長周期地震動階級という指標を導入しています。

表 長周期地震動階級関連解説表（高層ビルにおける人の体感・行動、室内の状況等との関連）

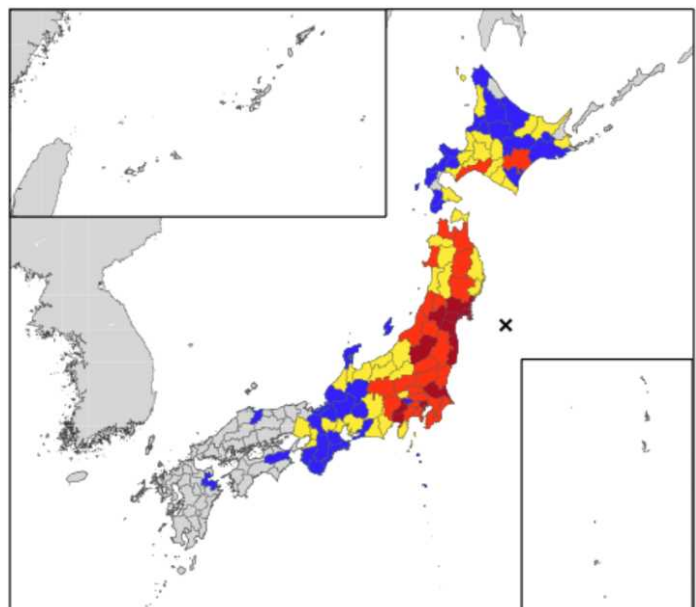
長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1 （やや大きな揺れ）	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。 驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	-
長周期地震動階級2 （大きな揺れ）	室内で大きな揺れを感じ、物につかまらな いと感じる。物につかまらなと歩くこと が難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある 食器類、書棚の本が落ちることがある。	-
長周期地震動階級3 （非常に大きな揺れ）	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定してい ない家具が移動することがあり、不安定なもの は倒れることがある。	間仕切壁などにひ び割れ・亀裂が入 ることがある。
長周期地震動階級4 （極めて大きな揺れ）	立っていることができず、はわないと動く ことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するも のがある。固定していない家具の大半が移動 し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひ び割れ・亀裂が多 くなる。

長周期地震動に関する観測情報の発表

長周期地震動階級を用いて、長周期地震動により高層ビルの高層階で生じたと思われる揺れの大きさの程度や被害の発生可能性等についてお知らせする長周期地震動に関する観測情報の試行的な提供を平成25年（2013年）3月28日から気象庁ホームページ上にて開始（平成31年（2019年）3月19日に本運用へ移行）しました。

気象庁の震度観測点で震度3以上を観測する地震が発生した場合、長周期地震動階級や観測された波形等の情報を地震発生から20～30分程度で、気象庁ホームページに掲載しています。

平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震における長周期地震動に関する観測情報の発表状況を図に示します。



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

図 長周期地震動に関する観測情報の発表イメージ
平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震の例

長周期地震動に関する情報について

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/choshuki/choshuki_eq4.html

長周期地震動に関する情報の改善について

気象庁は令和4年度に、長周期地震動に関する情報を次のように改善します。運用開始日は令和5年2月1日(水)の予定です。

○長周期地震動に関する予測情報の発表(緊急地震速報の改善)を開始します。

安全な場所で揺れに備えるという行動は長周期地震動でも、通常の揺れに対しても同じであることから、緊急地震速報の発表基準に長周期地震動階級の予測値を追加し、緊急地震速報を改善する予定です。これにより、緊急地震速報の発表条件・続報の更新条件、発表対象地域は次のようになります。

発表条件 地震波を2点以上の地震観測点で検知し、最大予測震度5弱以上と予想した場合、または、最大長周期地震動階級3以上と予想した場合(ただし、マグニチュード計算使用観測点数が3点未満、かつ地震検知から15秒未満の場合は長周期地震動階級に基づく条件は適用しない)

続報の更新条件 緊急地震速報が未発表の地域で、震度5弱以上と予想した場合、または、最大長周期地震動階級3以上と予想した場合

発表対象地域 強い揺れ(震度5弱以上または最大長周期地震動階級3以上)を予想した地域、及び震度4を予想した地域

○長周期地震動に関する観測情報の改善

長周期地震動に関する観測情報の提供は現在、地震発生から20~30分程度で実施していますが、発表までの時間を短縮し、10分程度とします。また、オンライン配信を開始します。

気象庁地震火山部 配信資料に関するお知らせ 発行日 R4.08.01

表題 「長周期地震動階級に基づく基準を追加した緊急地震速報等の運用開始日について」

<https://www.data.jma.go.jp/suishin/cgi-bin/oshirase/oshirase.cgi>